

日本大学短期 B 海外派遣研究経過報告（第 1 弾）

理工学部電子工学科 教授 中川活二

平成 27 年 8 月 21 日

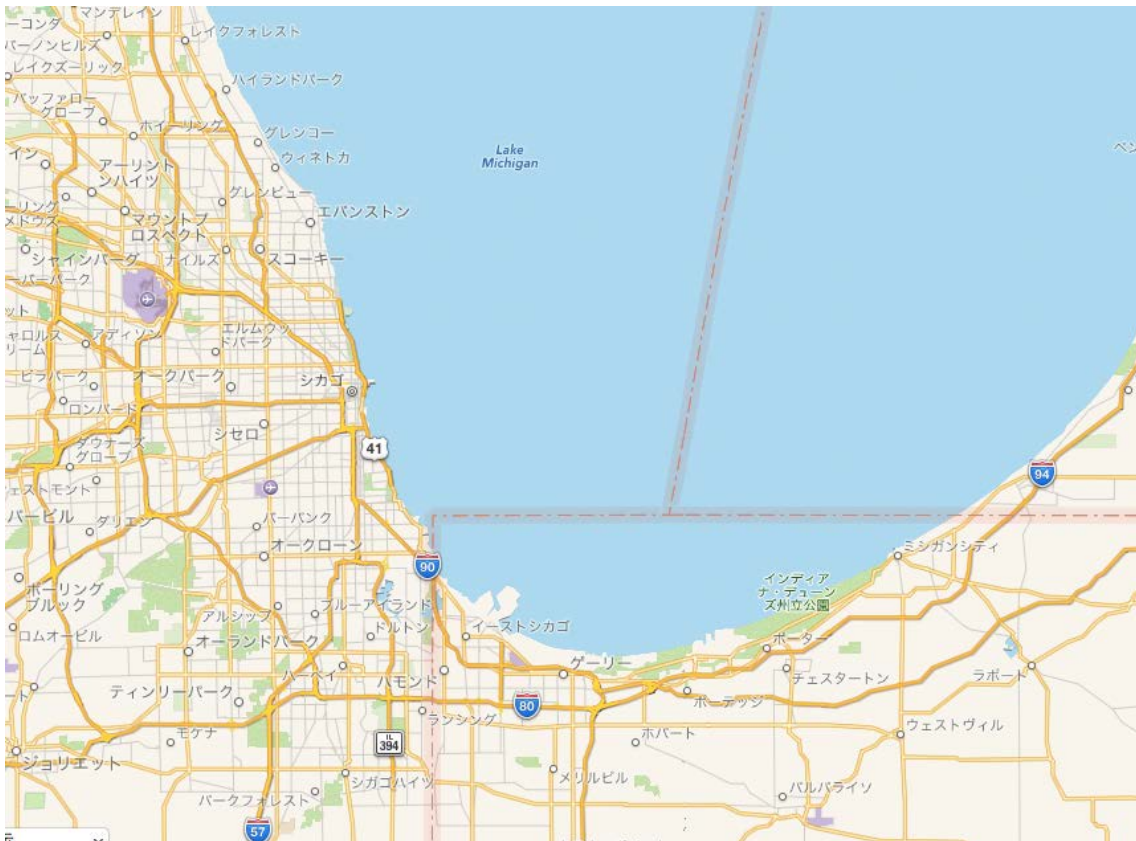
平成 27 年 8 月 16 日から 9 月 14 日まで日本大学の短期 B 海外派遣研究員を命じられ、成田を出発してまだ一週間も経っていませんが、ミネソタ大学 (University of Minnesota) での国際会議、ローレンスバークレー国立研究所訪問 (経過中) の報告をします。

日本を 8 月 16 日昼に出発し、夜を通過して同日シカゴ到着し、飛行機を乗り継いでミネアポリスに到着しました。

写真は、丁度シカゴ上空を飛行機が旋回してオヘア空港に向かうところです。今回は窓側席だったので良い写真が撮れました。



ミシガン湖上空からシカゴを望む



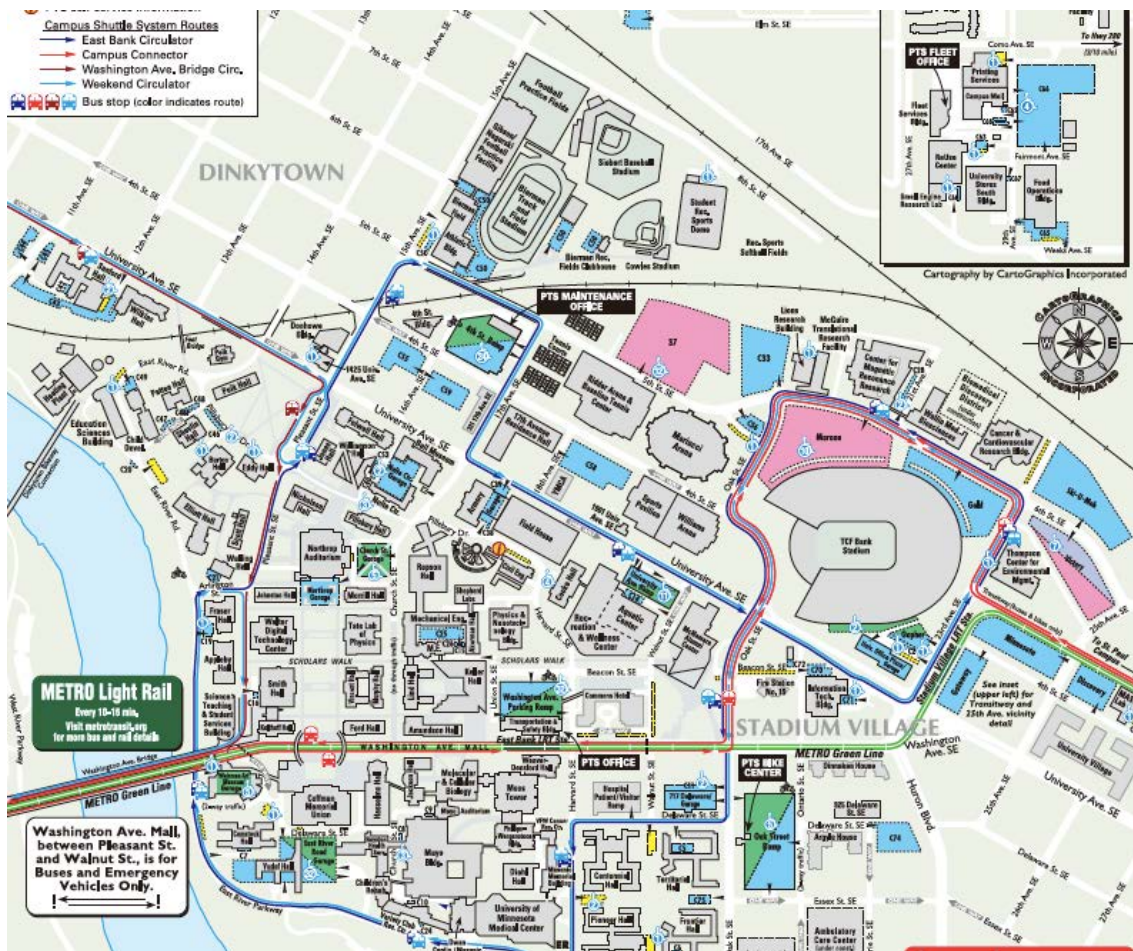
シカゴ近傍のマップ

(中央がミシガン湖、シカゴの左上にオヘア国際空港が紫色で示されている)

ミネアポリスのミネソタ大学は、キャンパスマップで分かるように、キャンパス内に市電が通っていて、市電の駅が 3 つあります。地図では大きなスタジアムが目立ちますが、ホテルが複数、沢山のレストランやスポーツバー、スーパーマーケットなど、都市と大学が一体化されており、キャンパスの端から端まで歩いたら 1 時間近くかかるのではないかと思うほどの広さです。

私が宿泊したのは比較的安い Days Hotel というチェーンホテルで、地図の右端にあり、写真のホテルの看板の向こうにスタジアムが見えます。

国際会議 (The Magnetic Recording Conference) には、200 人研究者が参加し、研究発表の半分は、熱アシスト磁気記録と言われる次世代ハードディスクの研究です。私の中核となる研究分野ですので、沢山の研究者達とお会いして良いディスカッションができました。



ミネソタ大学キャンパスマップ



宿泊したホテル



国際会議休憩時間に自撮り

会議の期間中、昼休みに Toastmasters という国際的な英語でのフォーマルスピーチをする現地のクラブにも参加し、交流しました。



Golden Toastmasters の方々

余談ですが、ホテルの朝食は、自分でトーストを焼いたり、勝手にヨーグルトを冷蔵庫から出したりしてセルフサービススタイルですが、ワッフルメーカーがありました。甘い物好きの私は、機械からカップにワッフルの元を流し込み、これを熱い鉄板の型に入れ、ふたを閉めて手前の握りを回転して型を上下に一回転するとタイマーが起動して2分半でアラームが鳴ります。たっぷりシロップをかけて美味しゅうございました。これが自宅にあったら大変なことになりそうです。



ワッフルメーカー

8月19日に会議が終わり、8月20日に Days Hotel を後にしてミネアポリスからサンフランシスコに向かいました。

アメリカに行かれた方はご存じと思いますが、例の 9.11 のニューヨークでのテロ以降、空港での検査が厳しくなっています。特に X 線装置に入って体全体をスキャンされます。今回、空港に行ったら、子供とお年寄りには検査で靴を脱がなくて良いとの記載がありました。足をぶつけてケガをする人がいるのでしょうかね？私が検査の事前チェック（パスポートと搭乗券）を受けていたら、私のチケットにマーカーで縦三本の線が引かれ、係官が「あなたは靴を脱がなくて良い」と私に言いました。（あれ、それって、私がお年寄りなのかな？とちょっと不機嫌に。。。）なお且つ、X 線装置をパスして、金属検知器だけの検査になりました。まあ、X 線を浴びる量が減るから良いかも知れませんね。



マークされた私の搭乗券

サンフランシスコには、2 時頃到着し、BART と呼ばれる電車で移動しました。行き先は Berkeley です。BART は、サンフランシスコ湾の地下を通り、東対岸に行きます。向かったローレンスバークレー国立研究所はバークレーの丘の上にあります、University of California Berkeley (UCB) と隣接していて、研究所内に写真のようなゲストハウスがあり、ここに宿泊しています。ゲストハウスの向かいには、サンフランシスコ湾が見え、その向こうがサンフランシスコのダウンタウンです。晴れた日にはアルカトラズ島やゴールデンゲートブリッジも一望できるそうで、チャンスがあったらまた報告します。



ゲストハウス



バークレーの町並みと、サンフランシスコ湾

さて、今日から共同研究者の **Peter Fischer** 氏と打合せおよび現地の施設見学をさせていただきます。

平成 27 年 8 月 21 日
午前 5 時